



みどりの森くろつち学園小郡市立立石中学校 令和8年4月28日

# 立石中学校だより 校長 野中文明 第2号

【学教育目標】 郷土を愛し、自分で考え、自ら行動する子どもの育成

【重点目標】 自分の考えや意見を分かりやすく伝える 【合言葉】 思ったことを伝え合う教室に



授業参観・保護者懇談会・PTA総会へご参加頂き、誠にありがとうございました。

子どもに「自分で選択・決定し、行動する」ことを取り戻して欲しいと思います。

4月17日（金）に授業参観を実施しました。多数の保護者に参加していただきました。本当にありがとうございました。当日の授業内容は、3学年とも家庭学習の行い方と家庭でのルールづくりでした。私も覗かせていただきましたが、とても楽しい時間でした。親子の会話も様々で、その場面を見ることができたことが私にとっては一番でした。本校の学校教育目標の中には、「自分で考え」「自ら行動」という言葉が入っています。これは、子ども達に自分で選択・決定する場面を提供し、自分に必要なことを自ら判断し、主体的に成長に向けた学びを粘り強く、継続する力をつけて欲しいというものです。ところで、保護者の皆さん、子ども達の幼児期を思い出してください。子どもが幼児の時、「寝返りをうつ」「立つ」「歩く」「字を書く」「文字を読む」など、親が「寝返りをうちなさい」「立ちなさい」と言わなくても、子ども達は自発的にチャレンジしていませんか？ 転んでも、失敗しても、泣いても、自分で繰り返し、諦めることなく粘り強く、出来るようになるまでチャレンジしていたと思います。その時の子どもの顔を思い出してください。嬉しそうに笑っていませんか？ 親もチャレンジしていること自体に手を叩いて応援し、できなくても決して責めずに励まして、出来た時は嬉しくてしょうがなかったはず。その時の子ども達には「自分で考え」「自ら行動」という目標は要らなかったと思います。だって、子ども達の行動全てが「自分で考え」「自ら行動」したものだったからです。ところが、今、なぜ「自分で考え」「自ら行動」を目標としなければならないのでしょうか？ 子ども達は、どこで「自分で考え」「自ら行動」「言われなくても学習すること」を忘れてしまったのでしょうか？ ひょっとしたら、大人の「こうあるべき」「こうしなさい」、「言う通りにしないと親が困る、教師が困る」などが子どもの「受け身」や「指示待ち」「学習が苦になる」を促したのかもしれない。もちろん、幼児期と同じままでは困ります。社会性や世の中の決まり事も必要ですし、学ぶ内容の難易度も上がっています・・・難しいところです。でも、今なら子ども達は、自分で意識して主体的に「自分で考え」「自ら行動」「自ら学びに向かうこと」がどういうことかを理解して、取り組むことができると思います。どうぞ、ご家庭でも子どもが自分と約束した決め事に対して、子ども自身が守ろうと行動できるようにサポートをお願いいたします。



- 1 早寝早起きを必ずする
- 2 携帯を使う時間は一日30分
- 3 皿洗いをする
- 4 勉強時間は一日40分
- 5 帰ったらすぐに手洗い、うがい



いいね ☺

とある日の朝、校長室の窓からグラウンドにふと目を向けた時の場面です。先生が一人でグラウンドで草取りをしているところに、「行っていいですか？」と声をかける生徒がいました。その子は、そのまま外に出て、先生と一緒に草取りをしていました。これも自分で考え、自ら行動する姿だと思います。とても素敵な場面を見せていただきました。





# Compass

No.01

= **目標設定のスキル**

×

**振り返りのスキル**

×

**習慣化のスキル**

主体的によい選択ができる

行動の質があがる

労力は最小、結果は最大

## 今、皆さんの目の前に「たい」は泳いでいますか？

今、皆さんの目の前に「たい」はたくさん泳いでいますか？「たい」と言っても、魚のたいではありません。「自分が〇〇をやりたい」という、意志のことです。皆さんには、やりたいことがたくさんありますか？

私は、皆さんに目標を持って生活して欲しいと思っています。それはなぜか？目標を持つことで、主体的に良い選択ができると思っていますからです。

例えば、明日、3年生にとっての最後の中体連の試合があります。負ければ引退です。集合時間は朝の7時になっているので6時には起きないといけない…としましょう。でも、今日の23時から24時まで、どうしても見たいテレビがある。さて、あなたは どうしますか？

「どうしても試合に勝ちたい」という目標を持っている人は、おそらく自らテレビの誘惑を振り切って、コンディションを整えるために早く寝るとい、良い選択が出来るのではないのでしょうか？結果は、相手があることなので分かりません。ただ、寝不足でコンディション不良で大会に臨むより、目標達成の確率は高いはずで。皆さんの行動は、すべて皆さん自身が選択しています。自分が「どうしてもやりたい」という目標があれば、行動もそれに一致したものを自ら選択するようになります。このように、目標には、自分に必要な行動を、自ら選択するようになるという効果があります。

もちろん、目標を必ず持たなければならないという訳ではありません。目標がなくても、毎日の生活に何の支障もありません。ただ、実際のところ皆さんは、毎日、何かしらの目標を持って生活しています。そして、目標を達成するという経験もしています。

例えば、忘れ物がないように準備して学校に行く。移動教室で遅れないようにする。これも、目標です。出来ていれば、目標達成です。皆さんが意識していないだけです。

そしてもう一つ。目標を叶えるためには、そのために必要な行動を起こさなければなりません。「努力」というものです。「努力」を嫌がる人は多いです。皆さんもそこに困っているのではないですか？その大きな理由は、「やらされる」ことへの努力だからです。当然、やりたくなくてもやらなければならないことはあります。しかし、「やりたい」ことならば、努力することへのハードルは下がるのではないのでしょうか？しかも、そこに「楽しさ」や「喜び」があるとしたらどうでしょう？皆さんは、今、家庭でのルールや今年の目標を設定しているところだと思えます。その目標が叶った時のことを想像してみてください。どんな表情をしていますか？

私は、皆さんが「なりたい自分になる」ことをサポートしたいと思っています。上の3つ「目標設定」「振り返り」「習慣化」のスキルは、皆さんをなりたい場所に連れて行ってくれる「Compass(コンパス)」の役割をしてくれるものだと思います。これから皆さんは、自分の経験を通して様々なことを学びます。その中で皆さんが「なりたい自分になる」ことを、私はこれから出すお便りで、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

ちなみに私にも「なりたい自分」があります。それは、今の自分では到達出来ないものなので、今よりもっともっと成長することが必要です。そして、やりたいこともたくさんあります。私は、Wish List とビジョンボードを作って、毎日、朝と夜に眺めています。ビジョンボードはモチベーションがあがるので、毎日、楽しく眺めています。